

# 主日礼拝

2023年09月03日  
午前10時30分

**前奏** 「唯愛する神のみにより頼む者は」  
(J.S.バッハ)

**参集** (報告・紹介・予定)

## 招詞

「主に従う人は主を避けどころとし、喜び祝い  
心のまっすぐな人は皆、主によって誇ります。」  
(詩編 64 : 11)

## 頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ちとみ子に  
グロリア グロリア グロリア せいなる 霊に

## 信仰告白 使徒信条

私は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
 我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。  
 主は聖霊によりてやどり、処女マリアより生まれ、  
 ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に  
 つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に  
 死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる  
 神の右に坐したまへり、かしこより来たりて、生  
 ける者と死ねる者とを審きたまはん。  
 私は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、  
 罪の赦し、身体のよみがえり、永遠の命を信ず。  
 アーメン

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
 ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
 み国を来らせたまえ。  
 みこころの天になるごとく  
 地にもなさせたまえ。  
 我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
 我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、  
 悪より救い出したまえ。  
 国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
 なればなり。  
 アーメン。

## 賛美 32「キリエ・エレイソン」

キリエ エレ イソン キリエ エレ イソン  
しゅよあわれみをしゅよあわれみ

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

## 聖書 ルカによる福音書 14 : 7~14

新約(新共同訳)P136~P137

7 イエスは、招待を受けた客が上席を選ぶ様子に気づいて、彼らにたとえを話された。  
 8 「婚宴に招待されたら、上席に着いてはならない。あなたよりも身分の高い人が招かれており、9 あなたやその人を招いた人が来て、『この方に席を譲ってください』と言うかもしれない。そのとき、あなたは恥をかいて末席に着くことになる。10 招待を受けたら、むしろ末席に行って座りなさい。そうすると、あなたを招いた人が来て、『さあ、もっと上席に進んでください』と言うだろう。そのときは、同席の人みんなの前で面目を施すことになる。11 だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。」12 また、イエスは招いてくれた人にも言われた。「昼食や夕食の会を催すときには、友人も、兄弟も、親類も、近所の金持ちも呼んではならない。その人たちも、あなたを招いてお返しをするかも知れないからである。13 宴会を催すときには、むしろ、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。14 そうすれば、その人たちはお返しができないから、あなたは幸いだ。正しい者たちが復活するとき、あなたは報われる。」

# 賛美 520 「真実に清く生きたい」

I would be true  
詞：Howard A. Walter, 1883—1918

PEEK  
曲：Joseph Y. Peek, 1843—1911

1 しんじつにきよく生きたい、せいじつ  
2 まことのともとなりたい、ともな  
3 けんきよにすすみゆきたい、よわさ  
なとものため。おそれずつ  
きひとのともと、あたえてむ  
をじかくしつ。ゆく手はな  
よくありたい、なすべきわざのため  
くいもとめぬまことのあいのひと  
おとくてもこころをたかくあげ  
に。なすべきわざのために。  
と。まことのあいのひとと。  
よう。こころをたかくあげよう。

- 1 真実に 清く生きたい、  
誠実な 友のために。  
恐れず 強くありたい、  
なすべきわざのために。  
なすべきわざのために。
- 2 まことの 友となりたい、  
友なき 人の友と、  
与えて 報い求めぬ  
まことの愛の人と。  
まことの愛の人と。
- 3 謙虚に 進みゆきたい、  
弱さを 自覚しつつ。  
ゆく手は なお遠くても  
心を高くあげよう。  
心を高くあげよう。

## 説教 「神の国の在り方」

## 聖餐式

### 賛美 81-1 「主の食卓を囲み」

詞：新垣正敏、1938—

MARANA THA  
曲：新垣正敏、1938—

1 主のしよくたくをかこみ、いのちのパンをいただき、  
すくいのみをのみ、主にあつてわれらはひとつ。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

- 1 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、  
救いのみを飲み、主にあつてわれらはひとつ。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。  
マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。

# 賛美 207 「ほめよ主を」

We the Lord's people  
詞：John E. Bowers, 1923—

DECATUR PLACE  
曲：Richard W. Dirksen, 1921—

1 ほめよ主を、われら主のたみ、  
2 ここのを、で、われらほめよ。  
3 ささげよう、パンと杯、主は祝福を下さる。  
うさ創り、たけ造り、ごの日の、えこ日、と、ろ、ま、こ、ろ、あ、わ、せ。  
主は、は、わ、れ、ら、を、さ、い、し、と、し、  
せいく、はん、ない、れ、ら、を、さ、い、し、と、し、  
ま、ね、か、れ、る、よ、  
上、地、に、な、え、る、日、  
あ、ず、か、ろ、う。

- 1 ほめよ主を、われら主の民、  
歌声と 心合わせ。  
主はわれらを 祭司として  
招かれる。
- 2 この家で われらは憩う。  
避けどころ、学びの場よ。  
どんな人も 迎え入れる  
主の家よ。
- 3 この日こそ 喜び歌え。  
創造の日よ、復活の日、  
聖霊の日よ、天の宴  
地になる日。
- 4 ささげよう、パンと杯。  
主は祝し 与えられる。  
朽ちぬみ糧 主の生命に  
あすかろう。

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン

アーメン アーメン アーメン

## 後奏 「感謝に満ちて神を讃えん」 (J.S.バッハ)

- 司式 向井 希夫牧師  
説教 吉澤 和海神学生  
奏楽 高橋 孝子  
助餐 袁 紅、大代 恵、  
岡田 知恵子、吉澤 和海神学生

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讃美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。